



安中市 令和4年第10回定例記者発表

ヤングケアラーに係る実態調査の結果報告について

市教育委員会は市立小中学校に通う児童生徒のヤングケアラーに係る傾向を把握するとともに、「ヤングケアラーと思われる子ども」を早期に発見し、関係部署の連携により支援策を検討するため、令和4年7月に「ヤングケアラーに係る実態調査」を実施いたしました。調査の結果がまとまりましたので、その概要を報告します。

1. 調査概要

- 実施期間 7月11日(月)～7月19日(火)
- 対象 小学校5年生～中学校3年生 2,024人
- 回答数 1,905人(回答率 94.1%)
- 実施方法 Google フォームを利用して実施
無記名回答 調査は選択式と記述式を併用
調査の前に、学級活動の時間に市教育委員会が作成した資料を用いてヤングケアラーについて学習した

2. 調査結果

- 「世話をしている人がいる」と回答した者をヤングケアラーとみなした場合、ヤングケアラーの存在割合は約4.2%であった。
- 世話をしている人は、「弟・妹」が最も多く、次いで「母親」「父親」であった。
- 世話をしている内容は、「きょうだいの世話」が最も多く、「家事（食事の準備、そうじ、洗濯）」「ぐちを聞く、話し相手になる」「見守り」などの回答が多かった。

3. 今後の方針

- ヤングケアラーの早期発見・支援につなげていくため、学校で毎月実施する生活アンケートにヤングケアラーに関する質問項目を追加し、随時実態を把握する。
- 関係部署が連携しながら、ケースに応じた支援策を検討する。

問い合わせ先

- ・教育部学校教育課
- ・担当：指導係
- ・電話：027-382-1111
- ・内線：2235